

車掌用新型車携機導入に待った！

**新しい機能を加えればよいというものではない！
必要な機能と使いやすさが一番求められているのだ！**

会社は、運転職場で運転士用端末導入に引き続き、車掌用新型車携機を導入しています。以前のものより多くの機能を持たせていますが、その機能のために使いにくくなっています。たとえばGPS機能のために電池がすぐになくなり、充電等で苦勞を強いられています。

現場では戸惑いと不満が渦巻く

会社は、運転士用端末（CAST）導入に当たっても、そうであったように、現場での声を聞かぬまま、日頃からお客様に接していない非現業の社員が一方的に「あれもあった方がいい、これも使えるようにしよう」と機能を無原則に増設し、いざ現場で使うと、社員は戸惑い不便さのみが気になるのです。

「申6号」で申し入れ

私たちは、申6号で7項目にわたり会社に改善要求を申し入れました。業務委員会開催までに、更に現場の声を集約していきたいと思っています。高い予算を使い導入するのなら、現場の社員が使えるものに改善しようではありませんか。

【申入内容】

1. 始業操作に時間がかかるため早め出勤で対処している。これは明らかにサービス労働であり極めて不当な事態である。また、締切操作に時間がかかるため終了点呼を超えてしまっている。準備報告時間（出勤時10分増、退出時5分増）を増やすこと。
2. 乗務員詰所では、労働時間外で充電または乗泊で充電をしているが、なかなか充電されない。急速充電器を乗務員詰所に置くこと。
3. 毎行路、予備電池を2個携帯している。電池がなくなるのが早いので改良すること。
4. トンネル内では発券できない。改良すること。
5. 乗車券、特急券の発券速度が遅い。改良すること。
6. スクリーンロックになる時間が早い。改良すること。
7. 速やかに改良できない場合は、発券機能のみを使用し旅客対応に専念すること。